

広報

ただみ

1
2015 月号

No. 536
平成27年1月10日



只見町長・議会議長
新年のごあいさつ…… 2～3

第43回只見ふるさとの雪まつり
雪むすめが決定!!…… 4～5

鉄道風景画家 松本忠さん
只見線の切符をプレゼント 他…… 6～7

町の話…… 8～9

今月の表紙

12月11日、只見保育所で餅つき誕生会が行われました。杵と臼を使ってざくら組さんが一生懸命に餅をつき、やわらかくてよく伸びるとっても良いお餅がつきあがりました。お餅はつゆやあんこ、きなこ餅などにして振る舞われ、その美味しさから子どもたちはたくさんおかわりをしていました。



只見町長
目黒吉久

活力と魅力ある 町づくりを目指して

初春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様におかれましては輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

さて、当町におきましては、未曾有の豪雨から3年半が過ぎようとしています。関係機関はじめ多くの方々のご努力、町民の皆様のご協力を得ながら概ねその目標を達成しつつあり、八木沢地区の堤防改修も進み、叶津川は年度内完了、黒谷川改修工事も平成27年度には竣工いたします。只見川圏域の河川整備計画も示され、年度内に国の認可を受け、新年度より測量に入っていきます。

また、心配された黒谷の林道災害復旧も継続して実施されることになりました。

JR只見線につきましては、県・関係町村が一丸となつて全線再開通を求めてまいりましたが、鉄道軌道法改正案の提出がなされるところまでできました。しかし、極めて厳しい状況には変わりなく、ひき続き全線再開通を求めていかなければなりません。

八十里越地点早期開通につきましても、三条市との交流連携を深め議会とともに強く働きかけてまいります。災害復旧もひき続き取り組んでいくことは勿論ですが、少子

高齢化の進展、人口減少による地域の活力が低下する中、住民の安全・安心の確保と共に厳しい状況の中にあつても未来に向けた存続のために、自信・誇りの回復を目指し地域の活力を高めていくことが最重要課題であります。

昨年6月には、目指してまいりましたユネスコエコパークの登録認定が実現し、これは平成26年度の県内10大ニュースにも入りました。厳しくも豊かな只見の自然の中で、営々と築き上げてきた先人達の歴史・文化・暮らし・産業が認められたものであります。これを契機になお一層自然を大切にしながら、地域資源を活用し、グローバル化の波に飲みこまれない自立した町づくりを地域政策の理念として取り組んでまいります。今後の具体的な取り組みにつきましては、広い只見町ですから只見・朝日・明和の地域特性を活かした拠点づくりを進めてまいります。

そして何よりも大切なのが高齢化が進む集落、地域対策であります。集落の維持や主体的な活動に取り組みやすい交付金制度を留意しました。なお一層生活者の視点に立つて町民とともに考える町づくりを基本に進めてまいります。

また、町民の皆さんが安心して暮らせるように医師の現行体制を堅

持するとともに看護スタッフの充実を図り4月からは胃カメラ検査が出来るようになります。さらに、障がいのある方への活動支援の充実を図るとともに、小規模特別養護老人ホームを新年度には竣工させ、保健・福祉・介護の充実に努めてまいります。

少子化の進む中、子育て支援は大変重要ですので、これまでの支援を継続し、子育てのしやすい環境づくりと経済的支援にもさらに力を注いでまいります。

以上、様々申し上げましたが、私達は今般の大水害の経験と、ユネスコエコパーク登録を機に誇りと活力、魅力のある町づくりを目指し、地域課題の解決に向けて全力を傾注して参る所存であります。町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力がなければ実現は不可能であります。職員が一丸となつて取り組むことはもとより、それぞれの立場でのお力添えを賜りながら町外の方々も含め、みんなの力が発揮できる活力ある町づくりを目指してまいりますので、なお一層のご支援ご協力をお願いいたします。

結びに、平成27年が皆様にとりまして素晴らしい1年となりますようお祈り申し上げます。ご挨拶といたします。

町民と歩む議会を目指して



只見町議会議長
齋藤 邦夫

明けましておめでとうございませす。

只見町議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には輝かしい初春をお迎えることとお慶びを申し上げます。

昨年は、只見町の自然と人間生活など、その生態系が世界的に認められユネスコエコパークに登録された記念すべき年であります。これからの町づくりに大きなインパクトを与えるものであり、これを契機に人口減少社会にあつて地域特性を活かし、輝きのある町づくりが期待されます。

さて、我が国を取り巻く諸情勢は、隣国との北方領土、竹島、尖閣諸島、拉致問題など未解決の外交問題を抱え、更に地球温暖化、大気汚染、福島原発事故、エボラ出血熱等、人間社会の存続にかかわる世界が協調して取り組まなければならない困難な課題があります。この様な中で、青色発光ダイオード開発によるノーベル物理学賞受賞は、日本人の頭脳と技術力を全世界に知らしめるという明るいニュースとして報道されました。

また、11月に行われた福島県知事選挙では、スピード感と現場主義を掲げて内堀県政がスタートし、衆議院解散による年末の総選挙では自由民主党が圧勝し、第3次安倍内

閣が発足しました。

日本経済は、アベノミクスに象徴される成長戦略と為替の円安効果によつて輸出関連の企業業績が伸張する反面、中小企業や地方経済へ波及せず、昨年の消費税率引き上げによつて景気回復は減速し、物価高により国民生活に負担を強いるものとなりました。一方、安倍政権の目玉である地方創生は、地方の特性を活かし意欲的な取り組みを喚起し、地方の自立に繋げようとするもので、国の積極的な支援に期待が寄せられています。

本町は、新潟・福島豪雨災害から3年余りが経過し、河川や農地の災害復旧は進みましたが、今後、恒久的な只見川大規模河川改修、国道289号を始め主要道路のインフラ整備、只見町防災計画に基づく地域づくりが急務と言えます。

また、JR只見線は国土の均衡ある発展と地域住民の生活安定に寄与し、沿線の貴重な観光資源の活用、只見ユネスコエコパークにとつて極めて重要な路線であり一日も早い全線復旧を成し遂げなければなりません。

さて、今年は第7次只見町振興計画が策定されますが、超少子高齢化の時代に只見町が生き残るため、当局と共に地域課題に取り組んで参りたいと考えます。

まず、町づくりの基盤となる集落機能の醸成、町民が安心して暮らせる福祉のまちづくり、地域内経済循環型産業の振興と雇用の創出、ユネスコエコパーク登録を契機に自然教育型観光の振興、更には、地域特性を活かした地域計画の推進など、議会は町民の意を体して実現に努力して参ります。

只見町議会は、町長と議会がそれぞれの役割を十分発揮できるように、全国に先駆けて通年議会制度を導入いたしました。二元代表制の下、地方分権の進展に伴いまして、議会は町民に代わる最高意思決定機関という基本的な役割に加え、町民の目線で町の仕事を監視・評価し、更には政策提案する役割と使命があります。また、「町民の皆さんと共に歩む議会」をめざして、会議の全面公開、議会広報の充実、ネット配信等に努めております。

今後も、当局と議会は互いの役割を尊重し、町民の福祉向上と只見町の更なる発展のため、誠心誠意努力をして参りますので、町民各位のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、新しい年が皆様にとりまして、素晴らしい年になりますよう祈念いたしました。年頭のご挨拶といたします。

第43回只見ふるさとの雪まつり

私たちが雪むすめです!!



まつむら あおい
松村 葵 さん(写真左)

只見町の豊かな自然と温かい人々に囲まれ、只見の魅力を感じています。「只見ユネスコエコパーク」に登録されて初めての開催となる伝統ある雪まつりの魅力を存分に伝えられるよう勉強して、多くの方々と楽しい時間を過ごしたいと思います。

ばば けいこ
馬場 景子 さん(写真右)

只見町で好きなものがたくさんありますが、中でもこの雪まつりは人の温かさや自然の雄大さを感じる事が出来る大好きなイベントです。只見の良いところを来場者の方に伝え「また来たい」と思ってもらえるよう精一杯雪まつりを盛り上げていきたいと思っています。

雪まつりの最新情報はこちらからご確認下さい

〈只見ふるさとの雪まつり 公式Webサイト〉

<http://tadamisnowfes.com>

〈フェイスブック〉 ☆只見ふるさとの雪まつり

〈ツイッター〉 ☆只見ふるさとの雪まつり

☆只見名物 味付マトンケバブ
(ツイート雪むすめ ケバブちゃん)

主催 只見ふるさとの雪まつり実行委員会

☎0241-82-5240

只見町の雪まつりを盛り上げてくれる雪むすめが決定し、12月12日に委嘱状が目黒町長より交付されました。今年の雪むすめは「松村葵さん」と「馬場景子さん」そして、ツイッターで雪まつり情報を発信してくれるツイート雪むすめの「ケバブちゃん」です。委嘱状交付後の写真撮影ではブナりんも雪まつりを盛り上げようと張り切っていました。

2月14、15日は只見町最大のイベント「只見ふるさとの雪まつり」にぜひお越しください!

第43回
只見ふるさとの雪まつり

雪を見るたび来なくなる

研ナオコ
&ひとみ オンステージ
2月14日

2月15日
電撃ネットワーク
パフォーマンスショー

2月14日(土) 15日(日)
2015年
会場 福島県南会津郡只見町 JR只見駅前広場

主催 只見ふるさとの雪まつり実行委員会 TEL 0241-82-5240
福島県南会津郡只見町只見字雨堤1039 (只見町役場観光商工課内)

※ 宿泊・交通のお問い合わせ
只見町観光まちづくり協会 TEL 0241-82-5250
福島県南会津郡只見町只見字上ノ原1828番地 (JR只見駅内)

※ Webサイト <http://tadamisnowfes.com>

後援 福島民報社・福島民友新聞社・NHK福島放送局・福島テレビ㈱・福島中央テレビ・
福島放送局・NHKテレビー福島・只見川電流流域振興協議会・只見町農工商工産評議会対策協議会
協賛 千原製粉市・ティーエヌアイ工業㈱・東日本旅客鉄道只見駅・陸上自衛隊郡山駐屯地・
電源開発振田子会電力所・南会津工場・東北ロテクノ・概スミタフォトニクス

つながれ、つながれ、只見線

2月14日(土)

- 梁取太々神楽
- 自衛隊音楽隊雪中演奏
- 郷土芸能発表
- 研ナオコ&ひとみ ライブステージ
- 福が満開ふくしま隊
- 雪中大神輿
- 厄払いの儀・おんべ
- おめでた祈願花火大会 ほか

2月15日(日)

- 仮面ライダーライブショー
- 只見音研歌謡ショー
- ペんぎんナッツお笑いショー
- 電撃ネットワークパフォーマンスショー
- 南会津郷土料理コンテスト発表
- カラオケ大会
- 天領只見仙嶽太鼓
- 祈願花火大会 ほか

只見線の切符を小学生にプレゼント



▲「只見線応援切符セット」を目黒町長に手渡す松本忠さん(左)



▲切符は子ども用と保護者用で絵が違います

11月28日、鉄道風景画家の松本忠さんが只見町役場を訪れました。松本さんは10月に只見町（季の郷湯ら里）と金山町（道の駅 奥会津かねやま）で「只見線応援展」を開催され、その作品の売り上げ金で只見駅―会津川口駅間の切符を購入。その切符に松本さんの只見線の鉄道風景画を一緒にした「只見線応援切符セット」を制作され目黒町長へ渡されました。この切符セットは只見町・金山町の小学生全員にプレゼントされ、切符は子どもとその保護者の方が乗れるように2枚セットとなつています。

切符を受けとった皆さまには、この機会に只見線について考え、ぜひ切符を利用して親子で一度代行バスに乗って頂ければと思います。

交通安全表彰を受賞

12月4日、南会津警察署で只見小学校などが交通安全表彰を受け、11日に只見小学校の二瓶校長先生と交通安全少年団を代表して高階涼矢君と小林聖佳さんが受賞報告に目黒町長を訪れました。

交通安全少年団は只見小学校の5・6年生全員が参加し、夏休み期間にドライバーに交通安全を呼びかけるテント村や、交通安全パレードなどを行っており、長年取り組んできたこれらの活動が認められ今回表彰を受けました。



▲賞状を持つ小林聖佳さんと盾を持つ高階涼矢君

平成26年度 交通安全表彰者

- 東北管区警察局長 東北交通安全協会長連盟表彰 只見小学校
- 全国交通安全協会交通栄誉賞 「緑十字銅賞」表彰 大塚純一郎さん

新庁舎基本設計の住民説明会を開催

12月3～5日、3振興センターを会場に役場新庁舎基本設計についての住民説明会を行いました。

基本設計説明後に意見交換を行い、参加者からは庁舎の雪対策や、再生可能エネルギーの取組み、町民の庁舎活用についてなど多くの意見を頂きました。

現在、役場新庁舎建設事業は実施設計業務を行っており、平成27年度に本体建築工事を発注できるように業務を進めています。



▲只見振興センターでの説明会のようす

「ふるさと只見の集い」

只見ユネスコエコパーク登録証を授与

11月30日、東京都スクワール麹町で「ふるさと只見の集い」が開催されました。ふるさと只見会は、只見町出身者や同町に縁のある方々が会員となっており、ふるさとである只見町を様々な形で支援し、会員同士の親睦を図られています。この日は年に一度の総会が行われ、その中で日本ユネスコ国内委員会主査（横浜国立大学長）鈴木邦雄氏よりユネスコエコパーク登録証を授与していただきました。鈴木氏は挨拶で、只見町に受け継がれてき



▲授与されたユネスコエコパーク登録証



▲授与式後の記念講演のようす

圏保存地域（日本呼称…ユネスコエコパーク）に登録されたことを紹介され、支援の一つとしてのふるさと納税の可能性や、今後の只見町の取り組みを激励されました。

その後、只見町の職員よりユネスコエコパーク制度の簡単な説明や、只見町の自然と共生する暮らしの素晴らしさ、その魅力ある自然や文化を今後どのように活用していくのか、ユネスコエコパークに登録されたこれからの只見町が描く未来について講演しました。

参加された方々は、世界に認められたふるさと只見の思い出を話し合い、喜ばれているようでした。お昼からの懇親会では、新しくふるさと只見会に入会された方々の紹介や、今後の只見町、ふるさと只見会の発展を話しながら、親睦を深められました。

た貴重で豊かな自然環境や伝統的な生活・文化が「人と自然との共生のモデル地域」として国際的に評価され、本年6月12日にユネスコの人間と生物圏(MAB)計画の、生物

只見町公認自然ガイド

フォローアップ研修を実施！

只見町は、自然環境と地域資源を振り所にした地域の活性化を図るため、ガイドの活動を通じて町内固有の自然や生活・文化を紹介、解説する「只見町公認自然ガイド(以下、ガイド)」制度があり、現在、合計16名の方が認定されています。

10月下旬～11月上旬、只見町ブナセンターの主催で、ガイドの知識や技術向上のためのフォローアップ研修として、現地研修および座学研修を実施しました。現地研修では、梁取地区の学びの森ブナ二次林において森林調査の方法、大曾根湿原においては乾燥化が進んでいる湿原の状況や教育委員会が進めている只見町の過去の植生を知るための調査などについて学びました。また、座学研修では、「鳥類の行動と生態」および「植物生理生態学―光の利用と成長様式―」について学びました。



▲現地研修のようす



▲座学研修のようす



▲子どもたちは「サンタさんありがとう。来年もまた来てね!」とお願いしていました

子 只見振興センター 子どもたちに夢とプレゼントを!

12月24日のクリスマスイブの夜、若いサンタクロース達がプレゼントを背負って子ども達の家を訪ねて回りました。これは、平成7年度に始まった「子どもたちに夢を贈る会」という只見振興センターの事業で、しばらく中止となっていたが今年数年ぶりに復活!只見高校の山村留学生らがサンタクロースとなって事前に依頼のあったお家を訪ね、子どもたちにプレゼント手渡しました。

ち 朝日振興センター ちょっと早めのクリスマス会!

12月7日、朝日地区の恒例行事となっている「クリスマス会」が朝日振興センターで行われ参加者やその保護者、中学生スタッフなどあわせて100名以上が集まり少し早めのクリスマス会を楽しみました。

みんなでクリスマスソングを歌うとサンタさんが登場し、一人一人にプレゼントが配られました。また、今年はブナりんも登場し子ども達は大喜び!ブナりんはゲームにも参加しさらに会場を盛り上げました。



▲サンタさんからひと足早いクリスマスプレゼント!

◀この日のブナりんはクリスマスツリーの役目も果たしたようです♪



▲可愛く出来たでしょ?

みんなでマジパンを
楽しくコネコネ♪



親 明和振興センター 親子クリスマスクッキング講座!

12月13日、明和振興センターで親子クリスマスクッキング講座を開催しました。今回はマジパンを使って好きなキャラクターを作り、ロールケーキのデコレーションもしました。参加者は親子で、また友達と相談しながら、楽しそうに作っていました。

今後もこのような講座の開催を考えていますの、ご要望があれば明和振興センターまで連絡ください。



▲写真がいっぱいでとても分かりやすく、子どもも楽しく学べます

「只見の自然を楽しむ本」が刊行

只見の自然環境をやさしく解説した本が刊行されました。32ページ、オールカラーで、山が雪崩で侵食された雪食地形や昨年発見されたタダミハコネサンショウウオ、日本一のユビソヤナギ林、珍しい雪の形などが紹介されています。只見の自然に学ぶ会が、福島銀行の「ふるさと自然環境基金」の助成を受けて編集し発刊したもので、町内の小中学校の全校生徒や三地区振興センターに寄贈されました。只見町観光まちづくり協会でも、700円で販売もされています。

ブナセンター料理教室 「只見のそばを食べる!」11月22日(土)



会津若松市在住でふくしまの食文化研究家 平出美穂子先生を講師に迎え、今年も料理教室「只見のそばを食べる!」をブナセンターで開催しました。

只見町で採れたそばを使い「揚げ蕎麦がきのみぞれがけ」、「蕎麦菜と厚揚げの炒め煮」、「蕎麦米しるこ」という3つのそばを使ったメニューを調理しました。天候不順により蕎麦菜が育たないというハプニングがありましたが、カイワレと豆苗で代用し3品の料理を作る事が出来ました。

はじめに平出先生から、それぞれの調理手順の説明が

あり、その後作りたい料理ごとに分かれて調理を行いました。調理後は、昼食も兼ねた試食会を行い、平出先生から蕎麦の栄養価や、蕎麦にまつわるお話を聞いたり、それぞれ蕎麦料理の感想や意見交換を行ったりと参加者同士が交流を深める充実した料理教室となりました。

料理教室には、男女合わせて10名の方が参加され、町内だけでなく町外からの参加もあり、参加者からは、「また参加したい」「蕎麦菜を育ててみたい」といった声が聞かれました。



▲調理作業風景



▲試食会のようす

広報ただみ診療所

朝日診療所
医師 若山 隆



「肺炎球菌ワクチンについて」

あけまして、おめでとうございます。昨年12月は寒波によって大雪になり、大変でしたね。雪の神様も少しは満足していただいて、年初しばらくは少し大人しくしていただけるとありがたいですね。

さて、今回は昨年に定期接種化された肺炎球菌ワクチン「ニューモバックス」のお話をします。肺炎は細菌感染症であり、日本の死因の第4位となっており、時として命に関わる疾患です。肺炎の原因菌で最も多いのが肺炎球菌であり、ワクチンによって免疫をつけることで予防できます。すべての肺炎を予防できるわけではありませんが、重症である侵襲性肺炎球菌感染症を減らし、死亡率を低下させます。アメリカ予防接種諮問委員会（ACIP）は65歳以上のすべての成人に肺炎球菌ワクチ

ンの接種を勧めています。すべての65歳以上の成人に一斉に投与するワクチンはありませんので、厚生労働省は65歳以上の成人に5年間かけてワクチンを接種しようと考えました。毎年、65歳から5の倍数になる年齢の方にワクチンを接種するわけです。逆に言えば一度接種できるチャンスを逃してしまえば、次にチャンスが来るのは5年後となるので注意が必要です。

今回特に注意が必要なのは昨年度の平成26年度が接種対象者の方です。平成26年度の接種対象者の方は今年の3月末までに接種しなければなりません。接種対象の方の生年月日は別に表として記載します。過去に接種されていない接種対象者の方にはもれなく保健センターから案内が届いているはずですが、対象になる方に案内が届いていない場合は過去に接種している可能性が高いです。

只見町の方であれば、朝日診療所で予約して頂ければ肺炎球菌ワクチンを接種できます。対象年齢の方で希望があれば、朝日診療所までお問い合わせください。定期接種といってもタダではなく自己負担(3,000円程度)がありますのであらかじめご了承ください。

平成26年度の対象者	生 年 月 日
65歳となる方	昭和24年4月2日生 ~ 昭和25年4月1日生
70歳となる方	昭和19年4月2日生 ~ 昭和20年4月1日生
75歳となる方	昭和14年4月2日生 ~ 昭和15年4月1日生
80歳となる方	昭和 9年4月2日生 ~ 昭和10年4月1日生
85歳となる方	昭和 4年4月2日生 ~ 昭和 5年4月1日生
90歳となる方	大正13年4月2日生 ~ 大正14年4月1日生
95歳となる方	大正 8年4月2日生 ~ 大正 9年4月1日生
100歳となる方	大正 3年4月2日生 ~ 大正 4年4月1日生

地域おこし協力隊として vol.7 只見町教育振興協力隊 末谷 広大

『想う冬』

只見高校に通う3年生は今、どんな気持ちで年末を終え、新年を迎えているのでしょうか。受験が終わり大学進学や専門学校への進路が決まっている者、目指している大学へ一般入試で臨もうとしている者、就職が決まり学生という身分から他の人より一足先に社会人になる者、それぞれ、期待と不安が入り混じった不思議な気持ちを抱いているのではないかと思います。今振り返ると、嫌なこともよかったこともひっくり返して、自分を成長させてくれた人生のスパイスであったと思えるのではないのでしょうか。そして、3年生にはこれまでの日々を思い出してほしいと思います。これまで、あなたは決して一人

じゃありませんでした。たわいのない話をし合えた友達、あなたの目指すものの為に一緒に悩んでくれた先生方、あなたを一生懸命に育ててくれた家族、あなたの毎日の生活を充実させてくれた町の皆さんが、そして「今のあなた」をつくり上げてくれたこの只見町が必ずそばにいました。泣いて、笑って、怒って、喜んで、時には挫折やあきらめを味わった日々もあると思います。卒業までもうわずかな時間しか残っていません。これまで当たり前だと思っていた日々は、当たり前ではなくなります。自分と関わりを持ってくれたすべての人に感謝の気持ちをもって、残りのわずかな時間を大切に過ごしてほしいと思います。

只見野鳥雑記 ③

ハクチョウがやってきて 増えたカモ

「こだにカモが増えつと、田んぼが荒らさつちえ、えれえことになる」

塩沢の滝湖で、一九八五年ころからカモが急に増えだしました。それを見た人たちが、このまま居座れば、田んぼの苗が踏まれ稲穂も食べられてしまうと心配したのです。カモが増えたのは、ハクチョウがはじめて飛来した時期とほぼ一致します。それは一九八三年の冬のこと、三羽のコハクチョウが越冬したのが最初です。翌年から近くで雑貨店を営む岩淵義寿さん(故人)が餌付けをはじめてからは、年々その数を増し、二〇〇六年一月には二〇九羽を数えるまでになりました。カモはそれと合わせるように増えていったのです。田んぼを荒らすカモは、一年中生息しているカルガモとオシドリです。しかし、このカモはハクチョウがやってくると、飛び去ってしま

まうため数が増えることはありませんでした。

滝湖で増えたカモというのは、実はホシハジロやキンクロハジロなどのシベリアからやってくるカモでした。これらのカモは、ハクチョウからおこぼれのエサをもらい、水に潜って水草などを食べます。ハクチョウと一緒にいれば、ハンターに狙われることもなく安全でもあ

ることも知っています。そして湖でひと冬を過ごす、三月には飛び去ってしまうのです。カモが多くなると被害が出るうわさは数年ではなくなりました。ハクチョウが来てからは、カモの総数は増えていったのですが、数を減らしたカモもいます。増えたのはホシハジロやキンクロハジロで、減ったのはマガモやコガモです。カモの仲間は、水面付近でエサを採る水面採餌ガモと水に潜ってエサを採る潜水ガモに分けられます。数の減ったマガモ・コガモは水面採餌ガモです。一方、数が増えているホシハジロやキンクロハジロは潜水ガモです。ということは水面採餌ガモが減り、潜水ガモが増えてき



▲急に数が増えたホシハジロ(上)とキンクロハジロ(下)

たという見方もできます。

只見湖は一九八九年にできた人造湖ですが、オオフラスコモなどのジャジクモソウ科の水草が増えて発電用の水車にからまり問題となつたことがあります。只見湖では、この水草を食料にして潜水ガモが増えたのではないかと思われ

ます。滝湖では二〇二年七月の大洪水によって生息環境が流失して、ハクチョウやカモが越冬できない状況が続いています。しかし、河川環境が安定化し植生が回復すれば、水鳥は戻ってくるでしょう。

カモの飛来数が増えるにつれて、いろいろな種類の水鳥もやってくるようになりました。水鳥とは、ハクチョウ類、カモ類、アイサ類、カイツブリ類など水辺域で生息する野鳥のことをいいます。ハクチョウが飛来する前まで見られた水鳥といえば、マガモ、コガモ、カルガモ、カワアイサの四種類くらいで、滝湖を中心に二〇〇羽にも満たないくらいでした。それが二〇一一年一月には、滝湖と只見湖を合わせて二〇九九羽を記録するまでなつたのです。そのほか只見湖では、ヒドリガモ、オカヨシガモ、オオバンがやってくるようになりまし

た。珍しいヨシガモ、トモエガモ、ホオジロガモ、カムリカイツブリも確認されています。

このように水鳥の飛来数や種類数が増えたのは、ハクチョウが水鳥を引き寄せる役割を果たしたと思われま



◀ハクチョウに給餌する岩淵義寿さん(2000年1月)

町民文芸



只見短歌会

十一月詠草

大塚栄一

指導

竹林に凌霄花高く咲き祖母逝きし日は鮮やかなりき

小倉キミ子

来る春に植えるかなどは分からねど地を確かめてダリヤの根を掘る

馬場 八智

山茶花の耀ふ花を荒縄で囲ふ庭師は手元休めず

古川 英子

旅先のホテルで赤子を見てくれし人同郷と嫁の声はずむ

新国由紀子

大根を積みて股ある大根を恵比寿様への供物と洗ふ

渡部ゆき子

老人となりし自覚を待ちをれど若き頃よりの気持変はらじ

関谷登美子

工事場の近き家々に責任者か終りを告げる挨拶に來し

目黒 富子

み仏の姿に似れば捨て難く墓の傍へにその石を置く

五十嵐夏美

一つひとつ行事が終わり気がつけば庭の落葉に驚き拾ふ

渡部ヨリ子

いくつもの曲の入りし玩具もち一歳の曾孫嬉々として押す

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

十二月例会

目黒十一

指導

尾根向き浅草岳や大根引く

敦子

ひつじ田や消雪工事の音響く

干し柿や愛はベタベタせぬほうが
鉛色の漬菜厨は凍て深々

洋子

会津富士^{かがよ}耀う峰や初菫

吉児

類を見ぬ茅葺き屋根の初駅^{うまや}

晴天や聳ゆる雪の浅草岳
馬宿と染屋と障子明りかな

礼

空もよしお婆出てみる大根引
水涸るる川原小石のみな丸く

邦男

門灯へ低く匂いり冬すみれ
マネキンの毛皮に触れてみたりけり

順子

冬支度風の早さに間に合わず
初雪や肩をすぼめて早足に

信

引抜きし葱の白さや日の昇る
最上川流れ逆撫で北風^{きたわらし}

修一

来春の畑に働くモンペ縫う
初雪の池の波紋に水澄めり

リウコ

病院へ着いてマスクを整へり
雪降る日ペットの傍に単行本

一穂

柿一つ初物だよと仏壇に

都

テーブルはおかわり続く新とろろ

今月のお知らせ

電話番号

総合政策課 地域振興係	財政係	☎ 82-5220
総務課 総務係 職員係		☎ 82-5210 ☎ 82-5050
町民生活課 税務係 町民係		☎ 82-5110 ☎ 82-5100
保健福祉課 保健係 福祉係		☎ 84-7005 ☎ 84-7010
農林振興課 農政係 林政係		☎ 82-5230
観光商工課 観光係 商工係		☎ 82-5240
環境整備課 地域整備係 生活環境係		☎ 82-5270 ☎ 82-5280
会計室 議会事務局		☎ 82-5120 ☎ 82-5300
農業委員会 教育委員会		☎ 82-5230 ☎ 82-5320
学校給食センター 只見保育所 朝日保育所 明和保育所 朝日診療所 (歯科)		☎ 84-7180 ☎ 82-2219 ☎ 84-2038 ☎ 86-2249 ☎ 84-2221 ☎ 84-2612
訪問看護ステーション		☎ 84-2130
こぶし苑 只見振興センター 朝日振興センター 明和振興センター		☎ 84-2101 ☎ 82-2141 ☎ 84-2111 ☎ 86-2111

募集

保健師などをめざす
奨学生を募集します

将来、町の施設で業務に従事しようとして、次の職種をめざす方に対し奨学資金を貸与します。

●対象となる職種・条件

保健師、助産師、看護師、放射線技師、理学療法士、作業療法士
※法に基づき指定された前項の職種の養成施設に在学または

在所し、国または他の団体から同種類の奨学金の貸与を受けていない方

●貸与額 月額10万円以内

●奨学資金の返還及び免除規定
奨学資金貸与条例により

▽原則として10年以内に返還。

▽ただし、一定の期間内に資格を取得し、資格取得後直ちに(保

健師、助産師、看護師は5年以内に)町の機関に就職し、その後引き続き10年以上当該業務に従事したときは返還の債務が免除されます。

●申込手続

申請書等は申し込みのあった方に直接送付しますので保健福祉課にご連絡ください。後日必要書類を提出していただくこととして、進学予定の方の申請も受け付けます。

●募集期間

平成27年2月13日(金)まで

▼問い合わせ

保健福祉課 保健係
☎ 0241-8417005

お知らせ

料金片道500円
福祉乗合いいききパス

福祉乗合いいききバスは車イスのまま、通院やお買いものなどが可能です。只見町内なら自宅から目的地まで片道500円で送迎しますのでご利用ください。

▼問い合わせ

会津只見振興公社
※ご利用は完全予約制で前日の午後4時までお電話ください。運行時間は平日の午前9時～午後5時までです。
☎ 0241-8311733
(平日午前9時～午後4時)

若者自立支援のための人材育成セミナーを開催します

ニートやひきこもりなどの若者の雇用問題について、東大教授であり、「ニート」問題の第一人者である、玄田有史先生にご講演いただきます。若者の雇用問題に興味をお持ちの方など、多くの方

の参加をお待ちしております。定員になり次第、締め切らせていただきますので、お早めに申込みください。

進むための希望のつくり方

●日時 平成27年1月27日(火)
午後2時～4時

●場所 会津稽古堂

●講師 玄田有史先生
(東京大学社会科学研究所教授)

●対象者 社会の中で若者が今置かれて

いる状況や、ニート・ひきこもり等の雇用問題に興味・関心のある方

●参加費 無料

●定員 100名

●問い合わせ 会津地域若者サポートステーション(運営母体:みとみ学園)

☎ 0242-3210011

7時～金曜日午前10時～午後7時※土曜日は午後4時まで

相談

「多重債務相談窓口」のご案内

福島財務事務所では、借金を抱えお悩みの方々からの相談に応じています。借金問題はさまざまな方法で解決できます。お気軽にご相談ください。

●相談窓口

福島財務事務所 理財課

●受付時間

平日午前8時30分～12時、
午後1時～4時30分

☎ 0241-53310064
(多重債務相談窓口直通)

税 今月の納期

1月26日までに
納めましょう

- 町県民税(4期)
- 固定資産税(4期)
- 後期高齢者医療保険料(6期)
- 農集排使用料(1月分)

「申告は正しくお早めに！」

平成26年度分の所得税及び復興特別所得税、贈与税の確定申告の期限は3月16日(月)、消費税及び地方消費税(個人事業者)の確定申告の期限は、3月31日(火)です。

田島税務署の申告・相談会場(田島税務署1 皆会議室)の開設は2月6日(金)～3月31日(火)までです。

※税務署の閉庁日(土・日・祝日)は、税務署では相談及び申告書の受付は行っておりません。

「税金の納付は、振替納税が便利です！」

平成26年度分の納付期限は、申告所得税及び復興特別所得税、贈与税は3月16日(月)、消費税及び地方消費税(個人事業者)は、3月31日(火)です。

振替納税をご利用の方は、申告所得税及び復興特別所得税は、4月20日(月)、消費税及び地方消費税(個人事業者)は、4月23日(木)が振替日となっております。

※贈与税については、振替納税はできません。

▼問い合わせ

確定申告に関する一般的なご相談は、「電話相談センター」をご利用ください。(音声ガイダンスの後「0」を選択)

田島税務署に直接連絡する場合は、音声ガイダンスの後「2」を選択してください。

〈田島税務署 0241-62-1230〉

町長の手帳

町長スケジュール〈12月分〉

- 1日 只見町戦没者慰霊祭、東邦銀行業況説明会・懇親会(会津若松市)
- 2日 只見金山昭和県道改修促進期成同盟会県要望(福島市)
- 3日 滝調整池堆砂対策協議会、湯ら里取締役会、12月補正予算町長査定、役場庁舎基本設計住民説明会(朝日地区)
- 4日 経済文教常任委員会
- 5日 役場庁舎基本設計住民説明会(明和地区)
- 8日 議案検討庁議、総務厚生常任委員会、ユネスコエコパーク担当者会議、南会津地方広域市町村圏組合管理者会、南会津地方町村会、南会津地方環境衛生組合管理者会(南会津町)
- 10日 只見町農業再生協議会、管内町村長と県知事との意見交換会(南会津町)、一般質問検討庁議
- 11日 雪まつり実行委員会
- 12日 雪むすめ委嘱状交付式
- 15日 只見町議会12月会議(～19日)
- 19日 只見スキーオープン式
- 20日 滝トンネル交通安全祈願祭・開通式(金山町)
- 22日 只見線復興推進会議・JR只見線国要望(東京都)
- 23日 只見線応援フェア(東京)
- 24日 福島県立医科大学訪問
- 25日 南会津地方環境衛生組合議会第2回臨時会、南会津地方広域圏組合議会、南会津理事会
- 26日 仕事納めの式(こぶし苑、役場)

消費税8%への引き上げ後に
家を買った方やこれから買う方へ

最大30万円が受け取れる
「すまい給付金」を
ご存じですか？

「すまい給付金」は消費税率引き上げによる住宅取得者の負担を緩和するために創設された制度です。住宅ローン減税は、支払っている所得税などから控除する仕組みであるため、収入が低いほどその効果が小さくなりますが、この制度は住宅ローン減税の拡充による負担軽減効果が十分に及ばない方も、住宅ローン減税とあわせて収入に応じ最大30万円を受け取ることができます。申請は、確定申告とは別に専用の申請書類にて全国の専用窓口か郵送で行い、申請期限は引渡しから1年以内です。

受給の条件や支給額、申請方法など詳しくは下記までお問い合わせください。

なお、制度のご案内はホームページでもご覧になれます。

●申請・問い合わせ

すまい給付金事務局 ☎0570-064-186
(ナビダイヤルで通話料がかかります)

●受付時間 9時～17時(土・日・祝含む)

●ホームページ

すまい給付金事務局 <http://sumai-kyufu.jp>

町民の消息

(12月1日～12月25日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

木津 美心羽 (女/弘典・美幸) 大倉

■ご結婚おめでとうございます

只見 中野 陽介♡檀上 智子 東京都

■おくやみ申し上げます

吉津	ウタ	74歳	長浜
梁取	吉太郎	87歳	小林
栗木	元枝	95歳	小川
渡部	ミドリ	69歳	福井
長谷部	妙子	85歳	長浜
入谷	弘	88歳	長浜
梁取	弘信	85歳	小林
樋口	純一	81歳	大倉
佐藤	正一	77歳	只見
吉津	博	73歳	黒谷

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成26年12月1日現在

人口 4,548 (+1)
 男 2,207 (-3)
 女 2,341 (+4)
 世帯数 1,797 (±0)
 高齢化率 43.4%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 12 転出 4 出生 1 死亡 8

▽あけましておめでとうございます。12月の大寒波は只見にもかなりの量の雪を降らせ「豪雪地帯只見」を実感しています。
 △只見は雪も凄いです。除雪の技術も素晴らしいと思えます。他の積雪地域から只見に来られる方は「只見の道路は走りやすい」とよく話されます。路面がきれいに除雪されている事はもちろんですが、道幅も夏場と変わらないくらいしっかりと広げられています。また、深夜から除雪作業を行っているので、朝の出勤時間帯にはきれいな道路になっています。こんな素晴らしい除雪作業を行ってくれる作業員の皆さんに日々感謝です。

(吉津)

あとがき

生涯学習推進員
大東 由佳

朝日振興センター
図書室 ☎84-2059

おすすめ新着図書

★りんごのおじさん



竹下 文子/作
鈴木まもる/絵
(ハッピーオウル社)

『奇跡のリンゴ』という、リンゴ農家・木村秋則さんの実話をもとにした絵本です。無農薬でリンゴを育てようとしたものの、周囲から強いパッシングを受け、何年も失敗し続けるおじさん。9年後に奇跡のリンゴと言われる無農薬の美味しいりんごが実りました。優しい絵が、おじさんの人柄を感じさせるような、心温まり、勇気がもらえる一冊です。

★峠うどん物語 上・下巻



重松 清/著
(福音館書店)

市営斎場の前に建つ、一軒のうどん屋『峠うどん』のれんをくぐるのは、命の旅立ちを見届けた人たち。そのうどん屋を手伝う中学生の孫娘よっちゃん。よっちゃん目線での「生と死」について描かれた、上・下巻からなる、連作短編集です。おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、そして『峠うどん』のれんをくぐるたくさんの人たちが教えてくれる「命」についての事。重松ファンでも、そうでない方にも読んでいただきたい一冊です。

★朝日振興センターでは、リクエストを随時受付しています。読んでみたい!という本があればぜひ、リクエストしてください。

町民章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

イタチ(ニホンイタチ) (学名: *Mustela itatsi*)

[イタチ科イタチ属]



(2014年3月25日 撮影)

本州、四国、九州の河川や湖沼などの水辺域から森林に生息しています。

体色は、茶褐色から黄褐色まで個体差がありますが、顔は眼の周りから鼻先まで濃い褐色で、あご下から首にかけて少し白っぽく見えるのが特徴です。

また、指の間には水掻きが付いており、泳ぎが得意で、魚やザリガニ、サワガニなどの甲殻類などを捕まえて食べます。その他、鳥類、ノネズミ類、カエル、昆虫などの小型動物を捕食します。

行動時間は特に決まっておらず、昼夜問わずに活動します。冬場も冬眠はしません。雌は一定のナワバリを持ちますが、オスは何頭かの雌のナワバリに重なる様な行動圏を持ちます。春に繁殖行動を行い、巣穴で平均3~5頭の仔を出産します。

只見町では、町内全域に生息しており、人家周辺でも見られます。特に餌に限られる冬場に目撃例が多く、イタチによる家畜(ニワトリ)や池の魚(鯉など)を狙う被害も、しばしば報告されています。また、屋内に保管されている魚用の餌が食い荒らされた痕跡が見つかるなど、きちんと戸締りしていても、その細長い体を使って色々な所に侵入しているようです。

昔は、狩猟の対象となっていたため、罠を使った捕獲が行われていました。毛皮はテンより安かったそうですが、数はテンの3倍近く獲れたといえます。

企画展示

「季節とともに生きるー只見の野鳥とその生態ー」

期 間：2015年1月17日(土)~4月19日(日)

ブナセンター講座

「森をつくる鳥たちー鳥と果実の共進化ー」

日 時：3月7日(土) 13:30~15:00

講師：上田 恵介 氏(立教大学理学部生命理学科教授)

自然観察会

「上田先生と歩く！冬のブナ林」

日 時：3月8日(日) 10:00~12:00

冬のブナ林には、どんな鳥が生息しているのでしょうか？野鳥の観察も行います！

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください